

適正穂肥&水管理で
高品質北越後米を生産しましょう!!



1. 北越後管内の生育状況

コシヒカリBL (管内 11 圃場平均) : 6/30 調査

*草丈・・・ 48.6 cm (指標値 並) *葉数・・・ 9.4 (-0.4)

*茎数・・・ 438 本/m² (並) *葉色・・・ SPAD値 36.4 (並)

実証圃の草丈・茎数は指標値並みですが、圃場によっては草丈が長く、茎数が急激に増加した圃場も見られます。向こう 1 か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。生育過剰にならないように注意し適切な穂肥対応して頂くとともに病害の発生にも注意しましょう。

2. 出穂期予想 ～平年より 2 日程度早い予想です～

平成 27 年度水稲出穂予想【第一報：6 月 25 日新発田普及指導センター発表 (5 月 10 日移植での予想)】

品種名	予想出穂期	穂肥窒素量 めやす (kg/10a)	穂肥時期(出穂前日数)	
			1回目	2回目
こしいぶき	7月30日	2	7月7日 (23日前)	7月16日 (14日前)
ゆきん子舞	7月28日	2～3	7月3日～5日 (25～23日前)	7月14日 (14日前)
ひとめぼれ	7月29日	2～3	7月4日～9日 (25～20日前)	7月15日～19日 (14～10日前)
コシヒカリ	8月8日	1～3	7月21日～22日 (18～15日前)	7月29日 (10日前)
わたぼうし	7月26日	2～3	7月4日～6日 (25～23日前)	7月14日～16日 (12～10日前)
こがねもち	8月3日	1～3	7月16日～19日 (18～15日前)	7月24日 (10日前)
五百万石	7月25日	1～2	7月5日 (20日前)	7月13日 (12日前)
越淡麗	8月12日	1～3	7月25日 (18日前)	8月2日 (10日前)
新潟次郎	7月22日	6	6月27日～29日 (25～23日前)	7月8日 (14日前)

コシヒカリ移植時期別出穂予想

5月5日移植=8月5日 5月15日移植=8月12日

○上記はあくまで平均予想です。圃場条件等によっても異なりますので、生育診断に基づき穂肥を施用しましょう。

○今後の気象条件により幼穂形成期・出穂期が変動する場合があります。最新の情報「営農情報」でお知らせいたします。

○砂壌土など地力の低い圃場では、生育状況により窒素成分で 1 kg 程度多めに施用しましょう。

○出穂期前後(幼穂形成期から登熟期)は稲にとって最も水を必要とする期間です。高品質・良食味米生産はもとよりカドミウム吸収抑制対策としても重要な栽培管理です→出穂 25 日前ころから湛水管理としましょう。

但し、湛水期間中、高温が続く場合は水温の上昇による「根腐れ」が心配されますので、可能な限り「水の交換」を行い根の健全化に努めましょう。

○中干し終了後、湛水管理へ移行するまでは、飽水管理(自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡に水が残るくらいになったら灌水する管理)を行いましょう。

3. 穂肥資材の紹介

肥料名		施肥量(kg/10a)						ほっと コーナー配達 価格(税込)	
		施用量→	5kg	7kg	10kg	12kg	15kg		20kg
北越後穂肥専用 (N12%-P5%-K8%)	N成分12.0%の内化学N成分11.5% (有機N成分0.5%)	窒素成分量	0.6	0.84	1.2	1.44	1.8	2.4	2,332円
		化学窒素成分量	0.575	0.805	1.15	1.38	1.725	2.3	
北越後有機穂肥 (N12%-P2%-K8%)	N成分12.0%の内化学N成分5.9% (有機N成分6.1%)	窒素成分量	0.6	0.84	1.2	1.44	1.8	2.4	3,121円
		化学窒素成分量	0.295	0.413	0.59	0.708	0.885	1.18	
α有機246ネオVa (N12%-P4%-K6%)	N成分12.0%の内化学N成分8.7% (有機N成分3.3%)	窒素成分量	0.6	0.84	1.2	1.44	1.8	2.4	2,851円
		化学窒素成分量	0.435	0.609	0.87	1.044	1.305	1.74	
おてがるくん (N12%-P5%-K7%)	N成分12.0%の内化学N成分12.0% (有機N成分0%)※水口流入肥料	窒素成分量	0.6	0.84	1.2	1.44	1.8	2.4	2,808円
		化学窒素成分量	0.6	0.84	1.2	1.44	1.8	2.4	
硫加磷安(穂肥)32号 (N14%-P4%-K14%)	N成分14.0%の内化学N成分14.0% (有機N成分0%)	窒素成分量	0.7	0.98	1.4	1.68	2.1	2.8	2,138円
		化学窒素成分量	0.7	0.98	1.4	1.68	2.1	2.8	
味好2号 (N7%-P2%-K7%)	N成分7.0%の内化学N成分0.0% (有機N成分100%)	窒素成分量	0.35	0.49	0.7	0.84	1.05	1.4	2,678円
		化学窒素成分量	0	0	0	0	0	0	
有機アグレット816 (N8%-P1%-K6%)	N成分8.0%の内化学N成分0.0% (有機成分N100%)	窒素成分量	0.4	0.56	0.8	0.96	1.2	1.6	3,510円
		化学窒素成分量	0	0	0	0	0	0	

- 施肥ムラ防止のため、止め水(浅水)にしてから施用しましょう。
 - 稲体の葉ヤケを防ぐため、降雨直後や稲体に朝露が付着しているときは控えましょう。
 - 穂肥施用の最終は、出穂の10日前をめやすに施用しましょう。
 - 後期の栄養凋落が大きい圃場では、有機入り穂肥を施用し後期栄養の維持に努めましょう。
 - 有機由来窒素を含んだ肥料を施用する場合は、化学窒素肥料に比べ散布時期が早くなります。
- 下記の表を参考にしながら時期を逸しないように施用しましょう。

有機由来の窒素割合	肥料名	化学窒素穂肥肥料より早める日数
20%以下	北越後穂肥専用	同等の時期
30~40%	α有機246ネオVa	1~2日程度早める
50~60%	北越後有機穂肥	2~3日程度早める
100%	味好2号、有機アグレット816	5~6日程度早める

4. 病害虫発生予察速報 ~葉いもちの本田発生~ (新潟県病害虫防除所 6/24 発表)

【いもち病】管内での初発は確認されておきませんが、6月23日に柏崎市西山町大坪(品種:こしいぶき)で葉いもちの本田初発が確認されました。(平年比やや早い)補植苗が伝染源と考えられますが、向こう1か月の天候は平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されるため早生品種を中心に今後も注意が必要です。

【カメムシ】高温が続いたため斑点米カメムシの発生量は今年も多い状況です。本田防除とあわせて出穂前の畦畔防除を徹底しましょう。

- ◎農道畦畔防除 7月10日(金)~7月12日(日) 農道畦畔のカメムシを防除と除草で
- ◎草刈り重点推進期間(3回目) 7月11日(土)~7月26日(日) カメムシの密度を減らしましょう。

<お詫びと訂正>

・広報きたえちご7月号、肥料紹介欄に一部誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに正しくは次の通りとなりますので宜しくお願ひ申し上げます。 味好2号の成分【誤 (7-1-6) →正 (7-2-7)】

N-P-K N-P-K